



2017年7月1日着任

鈴木 愛

すずき・あい

協奏分子システム研究センター
機能分子システム創成研究部門 事務支援員

本年7月より協奏分子システム研究センターにて山本G・小林Gの事務支援員として御世話になっております。

新しい分野でのお仕事で緊張もありますが、周りの方々に助けられて過ごしております。皆様にはご迷惑おかけすることも多いかと思いますが、少しでも皆様のお役に立てるよう努めて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

2017年8月1日着任

松村 祥宏

まつむら・よしひろ

理論・計算分子科学研究領域
理論分子科学第一研究部門 研究員

平成26年度から28年度まで京都大学にて日本学術振興会特別研究員（DC1）に従事し、学位取得後、8月より斉藤グループに博士研究員として着任しました。金属錯体の自己集合過程をはじめとした溶液内化学反応の理論研究を行って来ましたが、今後は、蛋白質の構造揺らぎおよび離合集散過程を動的不均一性・無秩序の観点から理論的に研究していきます。どうぞよろしくお願い致します。

2017年8月1日着任

Kim, Kiseong

生命・錯体分子科学研究領域
錯体触媒研究部門 研究員

I studied organic chemistry at Korea Advanced Institute of Science and Technology (KAIST), Korea, and received my doctoral degree in February 2017 for directed C-H activation with heterogeneous nano-sized transition metal catalysts.

In August 2017, I joined Prof. Uozumi group, IMS as a research fellow. My search is centered on the heterogeneous catalysts development, and as well as applying the catalysts to the continuous-flow reaction systems.

2017年8月1日着任

鷺尾 みどり

わしお・みどり

協奏分子システム研究センター
階層分子システム解析研究部門 技術支援員

8月から秋山先生の下で技術支援員としてお世話になっております。以前は、大学卒業後スガキヤに営業として就職しましたが結婚を機に退職しました。子育てが一段落した時に基生研でDNAの分析業務を7年間させていただき、その後（株）東レで人工腎臓の性能評価を牛血を使用して行っていました。現在は、タンパク質の抽出に取り組んでおります。DNAとたんぱく質の扱い方法の違いに四苦八苦しておりますのでご教授していただくと幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

2017年10月1日着任

繁政 英治

しげまさ・えいじ

技術課 課長（特任専門員）



本年9月30日付けで研究教育職を辞し（退職金貰いました）、年俸制の特任専門員として、研究力強化戦略室員及び技術課長を拝命しました。分子研在籍18年目の新人です。宜しくお願いします。分子研の技術課長は、「何でも屋」的な存在のようですので、日常生活の中で（所内での出来事限定でお願いします）何か困ったことがございましたら、内線7248（何してやがる）までどうぞ。

2017年10月1日着任

後藤 麻子

ごとう・あさこ

研究力強化戦略室 特任専門員



製薬企業で感染症薬の探索研究に携わり、平成19年3月に学位を取得しました。国内外研究員を経て（脂質生化学）、平成26年10月より国研課にて岡崎3機関をサポートしておりましたが、この度分子研専任となりました。仕事を通して未知だった「分子科学」に触れ、新しい発見を楽しんでおります。研究環境向上に少しでも貢献できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

2017年10月1日着任

岩野 由季絵

いわの・ゆきえ

機器センター 特任専門員



本年10月より機器センターにて大学連携研究設備ネットワーク事務局の特任専門員としてお世話になっております。研究所での勤務は今までに経験がなく「初めて」だらけの世界ですが、周りの方々にいろいろと助けていただきながら日々業務に取り組んでおります。一日でも早く職場に慣れ、少しでもお役に立てるように努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

2017年10月1日着任

GUO, Lei

極端紫外光研究施設 IMS フェロー



2017年9月に広島大学先端物質科学研究科で博士学位を取得後、分子研の加藤グループの研究者としてお世話になっております。大学院では先進的な電子源の研究・開発をやってきました。現在では加速器用高輝度電子源、スピン偏極電子源の研究・開発を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

2017年10月1日着任

ZHENG, Hong

理論・計算分子科学研究領域
計算分子科学研究部門 研究員



I received my Ph.D degree on Material Science and Engineering from Xi'an Jiaotong University, China, in December 2012. Then, I worked in Xi'an Jiaotong University as a postdoctoral fellow. During August 2014 ~ September 2017, I worked in Fukui Institute for Fundamental Chemistry, Kyoto University. Since October 2017, I joined Prof. Ehara's group in Institute for Molecular Science as a postdoctoral fellow. My research is centered on the theoretical investigation of functional carbon materials and organometallic chemistry.

2017年10月1日着任

OUYANG, Dongyan

協奏分子システム研究センター
階層分子システム解析研究部門 研究員



After finishing my doctoral course in Shizuoka University in Sep. 2017, I'm now a fresh man in Akiyama Group. I was researching the photosensitizers used in photodynamic theory. And this research made a strong bonding to the research I'm doing now. I was really happy when I got the e-mail from Pro. Akiyama saying that I would become a member in his group. To me, IMS is a very famous research place with a lot of highly capable researchers. And I was quite astonished at the very fine equipment when I first visited the lab. I will try my best to make an effort and I believe I can make a progress in here.

2017年10月1日着任

藤川 清江

ふじかわ・きよえ

機器センター 技術支援員



前職では製薬会社で栄養ドリンクの分析業務に携わっておりました。平成29年10月より機器センターの技術支援員として着任いたしました。現在は質量分析や有機微量元素分析等について教えていただいています。初めて扱う装置ばかりで慣れないことも多いですが、早く仕事を覚えて皆様の研究のお役に立てるよう頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

2017年10月7日着任

XIONG, Xiaogen

理論・計算分子科学研究領域
理論分子科学第一研究部門 研究員



I got my Ph.D. degree in computational chemistry from Tsinghua University, Beijing, in 2013. I moved to Shanghai Institute of Applied Physics, Chinese Academy of Sciences, as an assistant researcher after my Ph.D. graduation and began research on quantum chemical calculations of transition metal and actinide chemistry. Since the October of 2017, I joined Prof. Yanai's group as a postdoctoral researcher. My research focuses on the development of molecular electronic structure theory and its application in solving practical problems of chemical compounds containing d- and f-block elements.



2017年11月1日着任

谷中 冴子

やなか・さえこ

生命・錯体分子科学研究領域
生体分子機能研究部門 助教

2017年11月より助教として加藤晃一グループで活動しております。私の専門はNMRを用いた生体分子の動的構造解析です。今後、生体環境に近い*in situ*における生命分子科学研究に新たに取り組み、生命分子システムの機能デザインにも挑戦していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

覽古考新11 | 2009年

アメリカではこの数年息の長い基礎研究な段々やりにくくなってきたように思われます。アメリカではNSF、NIH、DOE、DODなど複数の機関から基礎研究に研究費が出ていますが、そのうちもっとも基礎的な研究に力を注ぐべきNSFが指向的なグループ研究に重心を移しています。もちろん公のお金を使うのですから社会の役に立つ研究にも力を入れることは必要ですが、NSFともあろうものが基礎を忘れてどうするのかというのが研究者の本音です。日本の研究費は比較的外圧の影響を受けにくいと思われますが、それでも最近の風潮は基礎研究はともすれば実用研究にくらべ軽視される傾向にあります。我が古巣分子研は世界の研究のセンターですから、役に立つ研究は当然大事ですが息の長い基礎研究もしっかりとやったださるものと期待しています。

.....

昨年は私が理論化学の研究を始めてちょうど50年、ずっと後ろを振り返らずに研究に邁進していました。最近理論化学がどのように発展してきたかを知らない世代が多くなってきましたので、歴史を継承してもらうためにもこの2-3年昔の話もするようにしています。そんな話に出会った時はいやがらないで聞いてください。

分子研レターズ No.59「OBの今：京都からの便り」(2009年)

諸熊奎治(京都大学福井謙一記念研究センター リサーチリーダー) ※

※ 2017年11月に逝去されました。我々を最後まで強力に牽引して下さい感謝の念に堪えません。